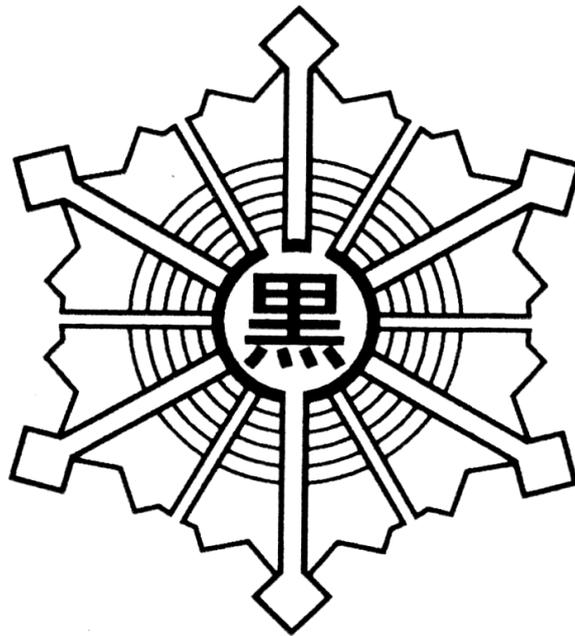


令和5年版

火災・救急・救助統計
(速報値)



黒川地域行政事務組合消防本部

目 次

【火災統計】

令和4年の火災概要	1～2
1. 火災総括表	3
2. 市町村別出火率と一世帯当たりの損害額	4
3. 用途別建物火災状況	4
4. 市町村別月別出火状況	5
5. 火災種別月別出火状況	5
6. 市町村別曜日別出火状況	6
7. 火災種別曜日別出火状況	6
8. 火災の出火時刻別状況	7
9. 出火原因別の出火件数	8

【救急統計】

令和4年の救急概要	9～11
1. 事故種別月別出場状況	12
2. 事故種別市町村別出場状況	13
3. 市町村別救急出場状況	14
4. 事故種別曜日別出場状況	15
5. 事故種別傷病程度別搬送人員状況	16
6. 事故種別収容所要時間別搬送人員状況	17
7. 管内管外別医療機関等搬送状況	17
8. 救急隊員の行った応急処置の状況	18
9. 年次別自動車専用道救急状況	19
10. P A 連携出場状況	20
11. P A 連携活動状況	20
12. 救命講習普及啓発活動状況	21
13. 年次別救命講習普及啓発活動状況	22

【救助統計】

令和4年の救助概要	23～24
1. 事故種別月別救助出場・活動状況	25
2. 事故種別市町村別救助出場・活動状況	26
3. 事故種別曜日別救助出場状況	26
4. 救出所要時間状況	27
5. 傷病程度別状況	27

令和4年の火災概要

令和4年中における火災の状況をみると、出火件数は30件で死者はなく、負傷者は4人発生している。損害額は47,096千円、建物焼損床面積1,216㎡、建物焼損表面積8㎡、建物焼損棟数18棟、り災世帯数10世帯、り災人員20人、林野の焼損面積は812aとなっている。

これを前年と比較すると、出火件数は3件の増加で、うち建物火災は前年比1件増加の16件、損害額、建物火災焼損床面積、建物焼損棟数、り災世帯数、り災人員、林野火災焼損面積は増加し、建物火災焼損表面積は前年より減少した。

1. 出火状況

出火件数は30件であり、12.2日（前年13.5日）に1件の割合で火災が発生したことになる。火災種別では、建物火災が最も多く16件（53.4%）、次いでその他の火災7件（23.3%）、車両火災6件（20%）、林野火災1件（3.3%）となっている。

出火件数を市町村別にみると、大和町が14件（46.7%）と最も多く、次いで富谷市が8件（26.7%）、大郷町が4件（13.3%）、大衡村が4件（13.3%）となっている。

2. 出火率

出火率（人口千人当たりの出火件数）をみると、管内平均は0.32であり、前年と同数ポイントとなっている。

これを市町村別にみると大衡村が0.71と最も高く、次いで大郷町が0.52、大和町が0.50、富谷市が0.15ポイントとなっている。

3. 損害額

火災による損害額は47,096千円で、前年と比較し7,247千円の増加となった。火災種別ごとに損害額をみると、建物火災が42,509千円（90.3%）で損害額のほとんどを占め、車両火災が4,064千円、その他の火災が523千円、林野火災の損害額は発生していない。また、市町村別にみると大和町が42,107千円で最も多く、次いで富谷市が4,475千円、大郷町が495千円、大衡村が19千円となっている。それを一世帯当たりの損害額でみると、大和町が3,424円で最も多く、次いで富谷市が222円、大郷町が171円、大衡村が9円となっている。

4. 月別出火状況

月別にみると8・10・11月が5件（各16.7%）で最も多く、次いで3月が4件（13.3%）、2・5・6・7月が2件（各6.7%）、1・4・12月が1件（各3.3%）となっている。

5. 曜日別出火状況

曜日別にみると、月・水曜日が6件（各20%）で最も多く、次いで木・土曜日が5件（16.7%）、火・金曜日が4件（各13.3%）となっている。

6. 出火時刻別状況

出火時刻別状況をみると「10時から12時」の時間帯が7件と最も多く、次いで「8時から10時」が5件、「12時から14時」が4件、「6時から8時」が3件となっている。

7. 出火原因

出火原因別では、排気管(車両関係)が4件と最も多く、次いでたばこが3件、電気機器・電灯電話等の配線・火入れが各2件となっており、その他7件、原因不明は2件であった。

【まとめ】

令和4年中の火災状況は、出火件数が30件で昨年と比較し、3件の増加となった。また、損害額も前年比で7,247千円増加している。近年、防火対象物火災が増加傾向にあるため、防火対象物及び危険物施設の計画的な立入検査を実施するとともに、防火管理者等による自律的な防火管理体制の構築を図り、過去の火災事例を教訓とした危険要因の改善指導に努め、指導体制を強化していく。

火災原因としては、製品火災の発生が多くなっているが、不注意等による人為的ミスからの火災も発生している。日本社会は、更なる少子高齢化社会が加速しているが、管内も同様である。高齢者世帯の増加が社会問題化している中で、関係市町村、女性消防団員、地域包括支援センター等と連携して火災予防の啓発、周知を図っていく。また、火災原因の調査及び原因究明のため、火災調査員の育成に努めるとともに、専門教育の実施により正確かつ迅速な調査能力の向上を図っていく。

黒川地域は今後も企業進出が増加すると予想され、就業人口の増加傾向は続いていくものと思われる。このような状況は、火災や災害事故等の発生も複雑多様化し、大規模化することも十分に予想されてくる。そのため、各関係機関や外郭団体と協力のもと、防火研修会や自主防災訓練等をとおして、放火や火入れなどによる火災の未然防止や、住宅用火災警報器の設置促進と適切な維持管理を推進し「安全で安心なまちづくり」を積極的に推し進め、防災力の向上を目指していく。

1. 火災総括表

区分 市町村別	出火件数	火災種別				焼損棟数					焼損面積		
		建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物(m ²)		林野(a)
											焼損床面積	焼損表面積	
富谷市	8	1		4	3	1			1		122		
大和町	14	11	1	2		13	2	1	4	6	1077	8	812
大郷町	4	2			2	2			1	1	17		
大衡村	4	2			2	2				2			
計	30 (27)	16 (15)	1 (1)	6 (5)	7 (6)	18 (17)	2 (3)	1 (3)	6 (5)	9 (6)	1,216 (662)	8 (23)	812 (30)

()内は令和3年

区分 市町村別	死傷者		り災世帯				り災人員	損害額(千円)				
	死者	負傷者	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	その他
富谷市		1						4,475	287		3,749	439
大和町		3	9	1		8	18	42,107	41,792		315	
大郷町			1			1	2	495	411			84
大衡村								19	19			
計		4	10 (7)	1 (1)		9 (5)	20 (16)	47,096 (39,849)	42,509 (37,297)		4,064 (2,252)	523 (300)

()内は令和3年

2. 市町村別出火率と一世帯当たりの損害額

区分 市町村別	世帯数	人口	出火件数		損害額	
			件数	人口千人当たり 出火率	損害額 (千円)	一世帯当たり 損害額(円)
富谷市	20,191	52,399	8	0.15	4,475	222
大和町	12,297	28,179	14	0.50	42,107	3,424
大郷町	2,892	7,728	4	0.52	495	171
大衡村	2,099	5,650	4	0.71	19	9
計	37,479 (36,940)	93,956 (94,225)	30 (27)	0.32 (0.29)	47,096 (39,849)	1,257 (1,079)

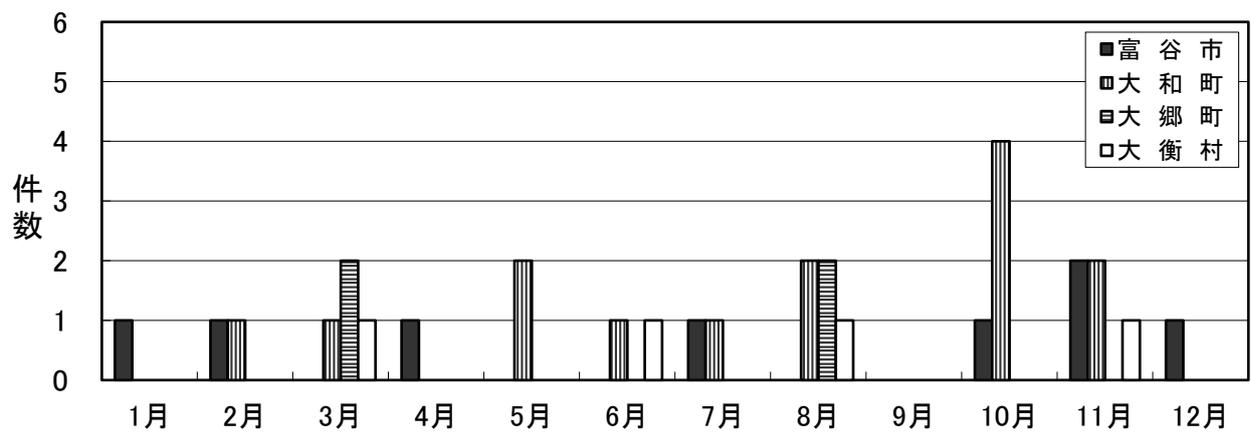
()内は令和3年

3. 用途別建物火災状況

区分 用途別	出火件数	焼損面積(m ²)		損害額(千円)
		床面積	表面積	
一般住宅 (併用住宅含む)	7	166	2	5,953
非住宅	2	139		670
防火対象物	7	911	6	35,886
計	16 (15)	1,216 (662)	8 (23)	42,509 (37,297)

()内は令和3年

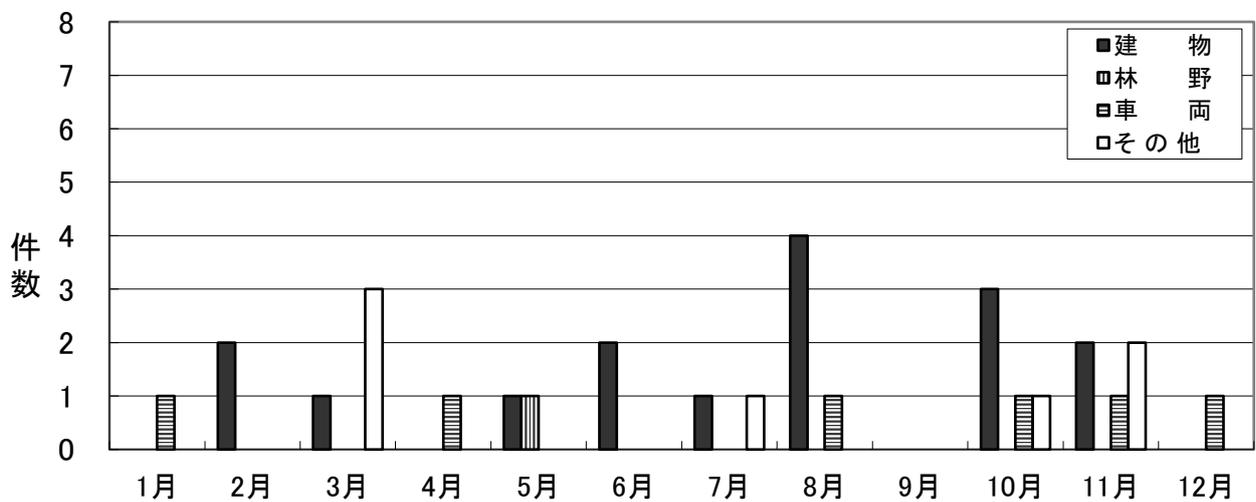
4. 市町村別月別出火状況



市町村別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
富谷市	1	1		1			1			1	2	1	8
大和町		1	1		2	1	1	2		4	2		14
大郷町			2					2					4
大衡村			1			1		1			1		4
計	1 (2)	2 (4)	4 (5)	1 (2)	2 (2)	2 (1)	2 (2)	5 (2)	(2)	5 (2)	5 (2)	1 (1)	30 (27)

()内は令和3年

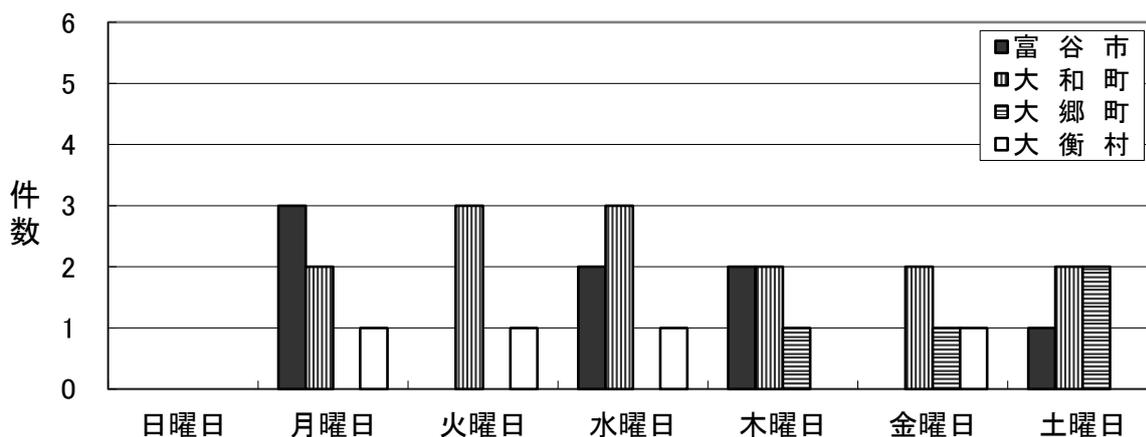
5. 火災種別月別出火状況



火災種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
建物		2	1		1	2	1	4		3	2		16
林野					1								1
車両	1			1				1		1	1	1	6
その他			3				1			1	2		7
計	1 (2)	2 (4)	4 (5)	1 (2)	2 (2)	2 (1)	2 (2)	5 (2)	(2)	5 (2)	5 (2)	1 (1)	30 (27)

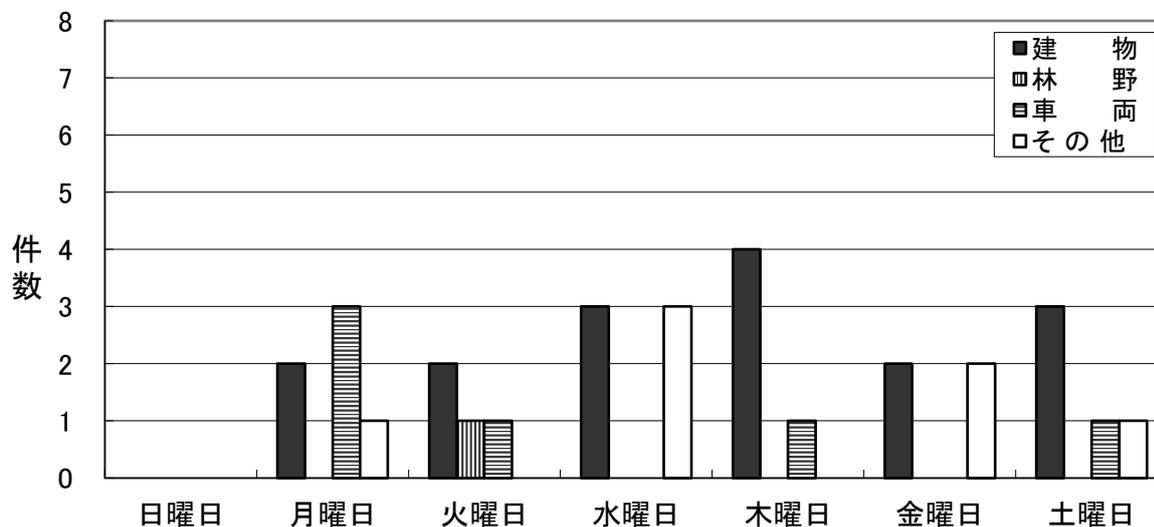
()内は令和3年

6. 市町村別曜日別出火状況



曜日別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	計
富谷市		3		2	2		1	8
大和町		2	3	3	2	2	2	14
大郷町					1	1	2	4
大衡村		1	1	1		1		4
計		6	4	6	5	4	5	30

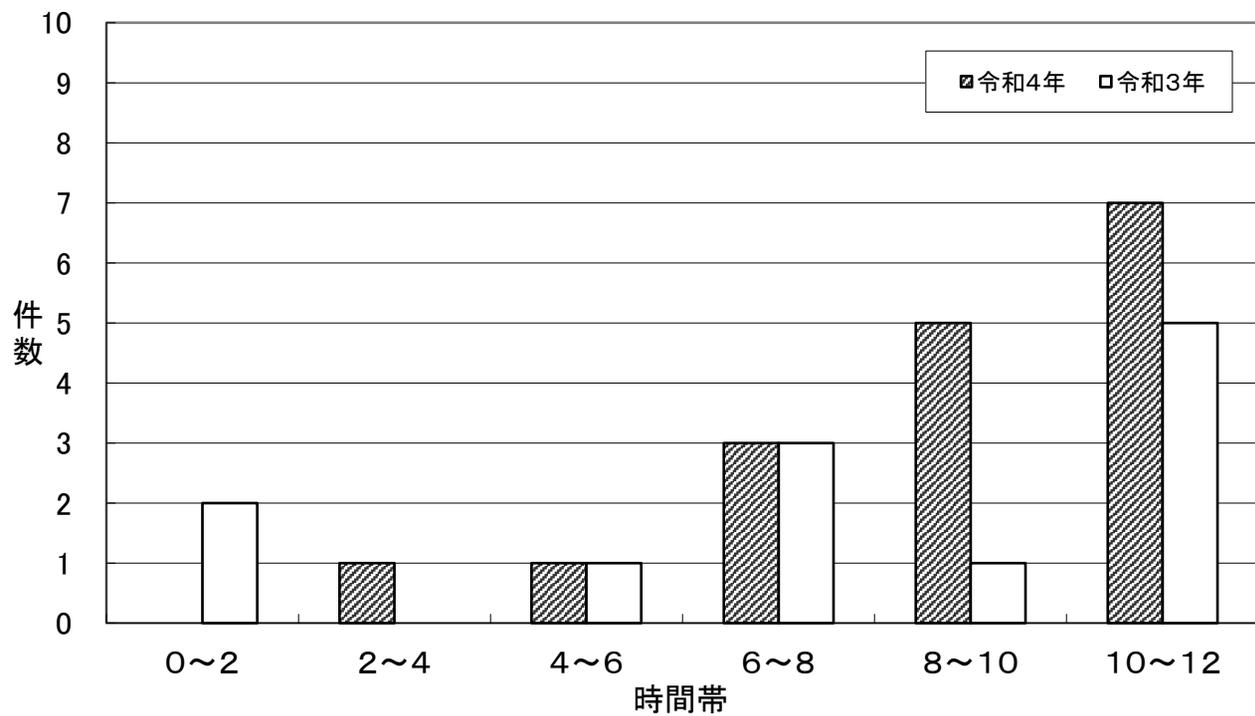
7. 火災種別曜日別出火状況



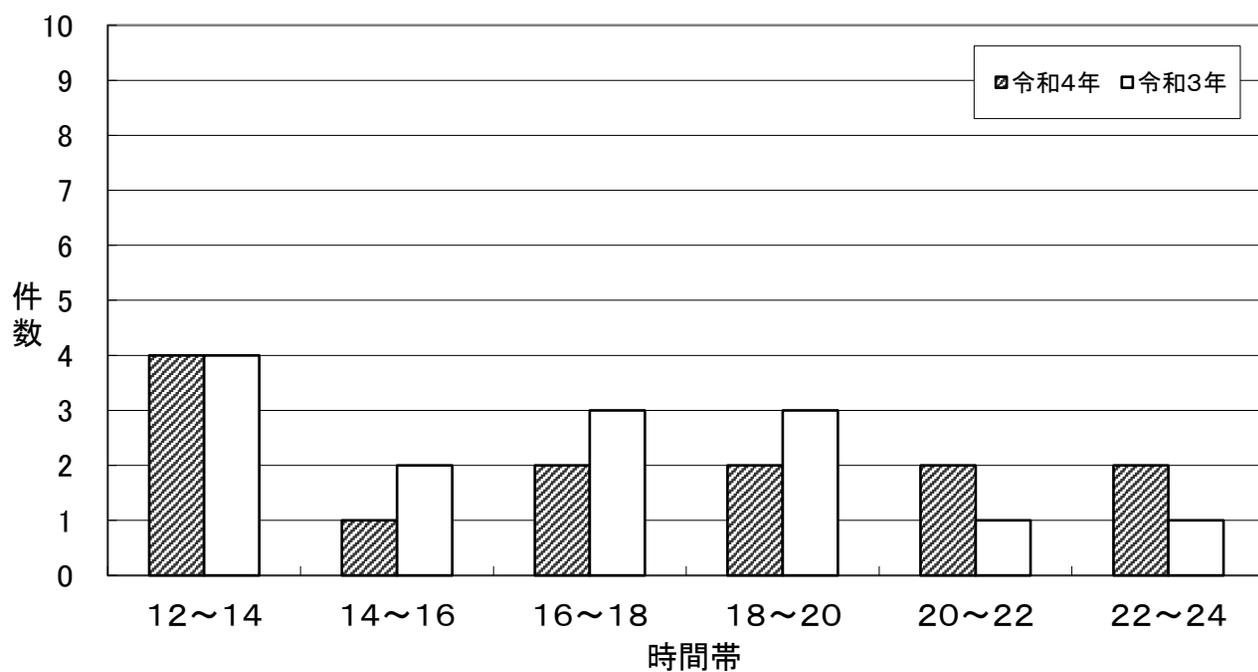
曜日別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	計
建物		2	2	3	4	2	3	16
林野			1					1
車両		3	1		1		1	6
その他		1		3		2	1	7
計	(3)	6 (4)	4 (6)	6 (3)	5 (4)	4 (3)	5 (4)	30 (27)

()内は令和3年

8. 火災の出火時刻別状況



年別 \ 時間別	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12
令和4年	0	1	1	3	5	7
令和3年	2	0	1	3	1	5



年別 \ 時間別	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24
令和4年	4	1	2	2	2	2
令和3年	4	2	3	3	1	1

9. 出火原因別の出火件数

出 火 原 因	件 数
排 気 管	4
た ば こ	3
電 気 機 器	2
電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	2
火 入 れ	2
風 呂 か ま ど	1
焼 却 炉	1
こ た つ	1
ラ イ タ ー	1
た き 火	1
溶 接 機 ・ 切 断 機	1
放 火	1
放 火 の 疑 い	1
不 明	2
そ の 他	7
その他の内訳:火花が飛ぶ2、電熱器を忘れて放置する1、 収れん火災1、金属の接触部が加熱する1、 帯電衣類の静電気によるガソリンへの引火1、 ブレーキライニングの摩擦により発熱1	
計	30

令和4年の救急概要

令和4年中における救急状況をみると、出場件数4,198件(前年3,546件)で、搬送人員3,910人(同3,341人)となっている。これを前年と比較すると、出場件数で652件(18.4%)増加し、搬送人員では569人(17.0%)増加している。

また、※P A連携による出場については461件(前年355件)と106件増加している。

※P Aとは、P：ポンパー(消防隊) A：アンビュランス(救急隊)

1. 事故種別出場件数及び搬送人員

出場件数を事故種別ごとにみると、急病が2,726件(65.0%)と半数以上を占め、次いで一般負傷の557件(13.3%)、転院搬送の456件(10.9%)、交通事故の241件(5.7%)と続いており、これら4つの事故種別で全体の94.8%を占めている。

また、搬送人員を事故種別ごとにみると、急病が2,527人(64.6%)と最も多く、次いで一般負傷の526人(14.2%)、転院搬送の451人(11.5%)、交通事故の238人(6.0%)などとなっている。

2. 月別出場件数

出場件数を月別にみると、12月が426件と最も多く(1日平均13.7件)、次いで8月の420件(同13.5件)、7月の411件(同13.3件)など続いており、年間による1日平均11.5件を超える出場件数となっている。また、出場件数で最も少ない月は2月の250件(1日平均8.9件)である。

3. 市町村別出場件数及び搬送人員

出場件数を市町村別にみると、富谷市が1,950件(46.5%)で最も多く、次いで大和町が1,471件(35.0%)、大郷町が423件(10.1%)、大衡村が339件(8.1%)、自動車専用道及び管外が15件となっている。

また、搬送人員を市町村別にみると、富谷市が1,815人(46.4%)と最も多く、次いで大和町が1,358人(34.7%)、大郷町が394人(10.1%)、大衡村が329人(8.4%)、自動車専用道及び管外が14人となっている。

4. 曜日別出場件数及び搬送人員

出場件数を曜日別にみると、月曜日が627件と最も多く、次いで火曜日が620件と続いている。最も少ない曜日は、日曜日の584件となっている。

また、搬送人員を曜日別にみると、火曜日が591人と最も多く、次いで月曜日が586人と続いており、最も少ない曜日は、日曜日で536人となっている。

5. 傷病程度別搬送人員の状況

傷病程度別搬送人員の状況は、中等症が2,108人(53.9%)で最も多く、次いで軽症が1,373人(35.1%)、重症が383人(9.8%)、※死亡が46人(1.2%)となっている。

これを前年と比較すると死亡では13人、重症で106人、中等症で286人、軽症では164人増加した。

※死亡：傷病者を救急車で医療機関に搬送し到着直後に医師が死亡と診断したものをいう。

6. 収容所要時間別搬送人員の状況

搬送人員を収容所要時間別にみると「30分～60分未満」が2,441人と最も多く、全搬送人員の62.4%を占め、次いで「60分～120分未満」が1,261人、「20分～30分未満」が1,411人、「120分以上」が66人、「10分～20分未満」が1人となっている。入電から医療機関等まで収容に要する平均時間が55.9分となり前年より5.5分延長となった。

7. 管内管外別医療機関等搬送状況

医療機関への搬送件数を管内管外別にみると、黒川管内が494件で、管内搬送率は12.8%であり、前年より僅かに減少した。管外への搬送件数は3,360件で前年より増加した。その内訳は仙台管内が3,091件で最も多く、全搬送件数の80.2%を占め、次いで大崎管内が186件、塩釜管内が63件などとなっており、依然として仙台管内医療機関への依存度が高まっている状況が続いている。

8. 救急隊員の行った応急処置の状況

救急隊員が応急処置等を行った傷病者は3,906人で、全搬送人員に対する処置等を行った比率は99.9%で殆どの傷病者に対し何らかの処置を施し、応急処置の延べ件数は18,160件となっており、処置率はほぼ同じである。

応急処置を内容別でみると、血中酸素飽和度測定、血圧測定、心電図、心呼音聴取、酸素吸入の順に多く、また心肺停止者に施す処置では、心肺蘇生が102件(うち自動心臓マッサージ器によるものは80件)、除細動が11件、救急救命士が医師の指示を受けて行える救命処置では、器具による気道確保52件、心肺停止前静脈路確保27件、心肺停止後静脈路確保40件、薬剤投与(アドレナリン)30件、ブドウ糖投与1件などとなっている。

9. 自動車専用道の救急状況

自動車専用道の救急状況をみると、出場件数は15件で搬送人員は14人となっており、うち東北自動車道は同10件(同12人)、北部道路は同5件(同2人)となっている。事故種別では、交通事故が10件(搬送人員11人)、急病が同2件(同2人)、一般が同1件(同1人)、その他が同2件(同0人)となっている。

10. PA連携出場・活動状況

PA連携出場は461件となった。事故種別でみると、急病が277件で最も多く、次いで交通事故が102件、一般負傷50件、自損行為が12件などとなっており、急病と交通事故への出場が379件(82.2%)で大部分を占めている。

また、ポンプ隊等が行った応急処置別実施件数をみると、血中酸素飽和度測定が65件、血圧測定46件、心肺蘇生32件、固定12件、止血12件などとなっている。

11. 救命講習普及啓発活動状況

救命講習受講状況をみると、実施回数は延べ30回（前年17回）で、受講人員は309人（前年120人）となっている。受講人員数を月別にみると6月が70人で最も多く、次いで9月、11月が36人、5月が30人と続いている。受講区分でみると、事業所が117人と最も多く、次いで学校等93人と続いている。新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら開催してきた。

平成6年から始めた救命講習会についてみると、回数は延べで1,498回を数え、延べ受講者数は38,035人に達した。

【まとめ】

令和4年中の救急出場件数は4,198件、搬送人員は3,910人で、昨年と比較し出場件数は652件増加、搬送人員も569人増加となり、前年比で出場件数18.4%、搬送人員17.0%の増加となる。一日平均11.5件で約2時間06分に1件の割合で救急隊が出場し、住民24人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。市町村別では、富谷市が280件（16.8%）、大和町は249件（20.4%）、大郷町は37件（9.6%）、大衡村は81件（31.4%）それぞれ増加した。事故種別では火災・転院搬送が減少したものの、急病、一般負傷、交通事故等ほとんどが増加している。

入電から病院収容までの時間が5.5分大きく延伸した。要因としては新型コロナウイルス感染症拡大により、県内の救急医療体制が非常にひっ迫した状況になり、受入先医療機関が見つからない救急搬送困難事案（照会回数4回以上かつ現場滞在時間30分以上）が増加した影響が大きいものと考えられる。また、管外医療機関への搬送増加によって、各署所救急隊の不在時間も長くなることとなり、救命率向上などを目的としたPA連携によるポンプ車隊等の出場も461件（106件の増加）となった。

本来の救命を目的とした救急業務に向けては、仙台・黒川メディカルコントロール体制を基盤とし、「指導救命士」による救急救命士の救命処置の向上と、研修・教育訓練の充実、実践をとおしての隊員の技術や資質向上を図り、救急救命士及び救急隊員の育成を計画的に行っていく。また、PA連携活動やドクターヘリを含めた関係医療機関との連携を充実させ（令和4年中の管内ドクターヘリ出場72件）、医療機関収容所要時間の短縮に努め、迅速・的確な搬送体制の整備を今後とも図っていく。更に、家庭・職場におけるバイスタンダーの普及啓発を引き続き推し進め、救急車到着までの『空白の時間』の傷病者管理、応急手当、救命処置がより高い確率で施され、救命率の向上が図れるよう住民と一体となった「安全・安心」な住みよい地域づくりを推進していく。

1. 事故種別月別出場状況

月別	事故種別 区分	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	転	そ	計	不 搬 送
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	院	の		
1	出場区分	1			9	6	5	58		4	217	39	1	340	16
	搬送人員				11	6	5	56		3	207	39		327	
2	出場区分	2			9	2		27		2	171	35	2	250	16
	搬送人員				8	2		26		2	162	35		235	
3	出場区分		2		23	3		42		6	197	49	2	324	24
	搬送人員		2		21	3		35		6	187	49		303	
4	出場区分	1			25	5	3	36	3	1	210	39	6	329	21
	搬送人員				28	5	2	34	2		203	39		313	
5	出場区分	1			21	4	8	33	2	8	206	45		328	18
	搬送人員				18	4	8	32	2	7	197	45		313	
6	出場区分	1			27	8	8	35		1	192	28	1	301	17
	搬送人員				28	8	8	33		1	183	28		289	
7	出場区分	2	4		14	12	5	56	1	2	274	39	2	411	21
	搬送人員				16	11	5	53		2	268	38		393	
8	出場区分	3			30	9	3	54		5	282	31	3	420	43
	搬送人員	1			30	9	3	53		4	250	30		380	
9	出場区分				18	6	3	53		2	209	38	2	331	16
	搬送人員				16	6	3	52		2	198	38		315	
10	出場区分	3			21	7	5	44	2	6	207	34	2	331	27
	搬送人員	1			18	7	5	43	1	5	192	33		305	
11	出場区分	2			20	7	6	61	2	3	265	41		407	51
	搬送人員	1			18	7	6	54	1	2	227	40		356	
12	出場区分				24	5	2	58	1	2	296	38		426	50
	搬送人員				26	5	2	55	1	2	253	37		381	
計	出場件数	16 (21)	6		241 (213)	74 (72)	48 (31)	557 (495)	11 (8)	42 (36)	2,726 (2,180)	456 (470)	21 (20)	4,198 (3,546)	320 (226)
	搬送人員	3	2		238 (210)	73 (71)	47 (31)	526 (472)	7 (6)	36 (18)	2,527 (2,064)	451 (469)		3,910 (3,341)	

()内は令和3年

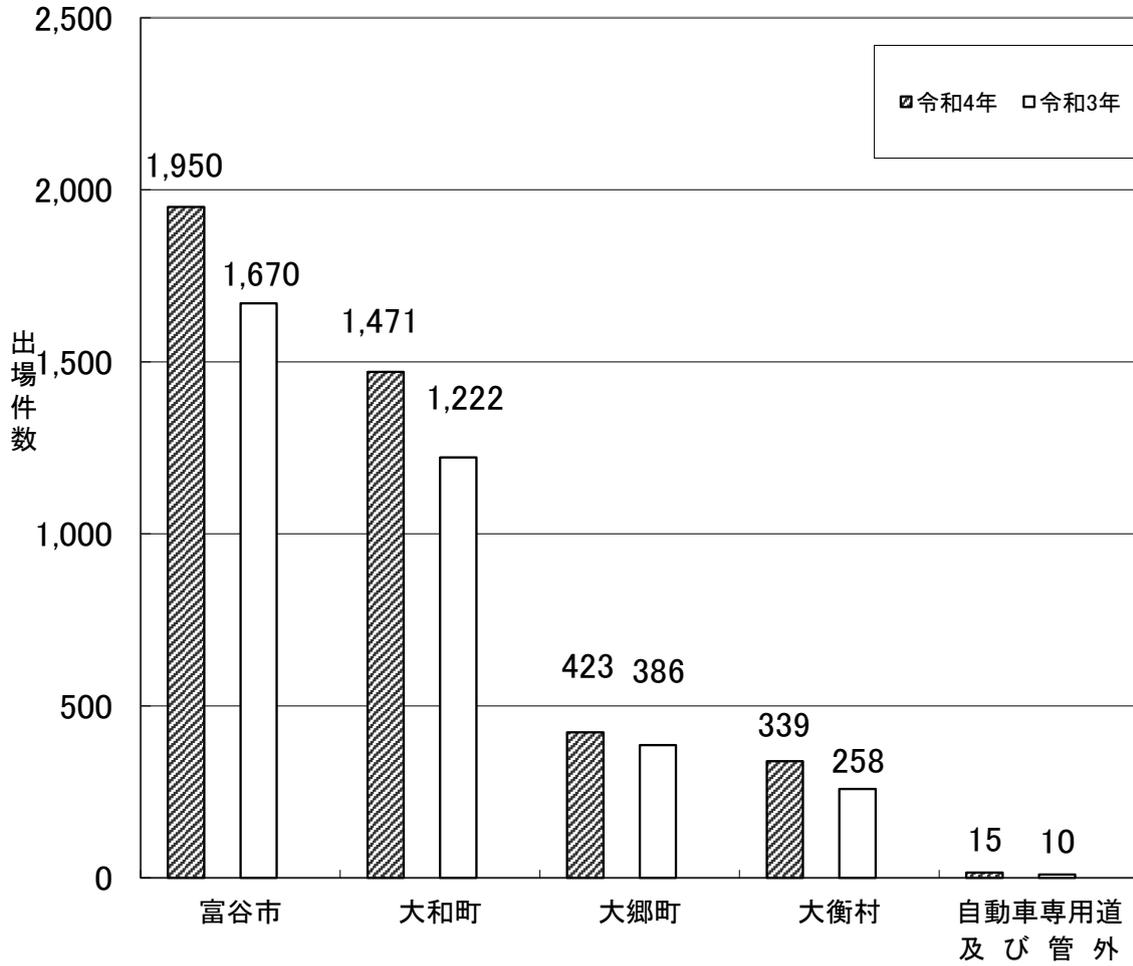
2. 事故種別市町村別出場状況

事故種別	市町村別 区分	富	大	大	大	自動車専用道 及び管外	計
		谷 市	和 町	郷 町	衡 村		
火 災	出 場 件 数	5	8	1		2	16
	搬 送 人 員	1	2				3
自然災害	出 場 件 数	1	1	4			6
	搬 送 人 員	1		1			2
水難事故	出 場 件 数						
	搬 送 人 員						
交通事故	出 場 件 数	89	72	28	42	10	241
	搬 送 人 員	83	66	28	50	11	238
労災事故	出 場 件 数	19	28	13	14		74
	搬 送 人 員	19	28	13	13		73
運動競技	出 場 件 数	16	22	9	1		48
	搬 送 人 員	16	21	9	1		47
一般負傷	出 場 件 数	275	178	53	50	1	557
	搬 送 人 員	259	168	49	49	1	526
加 害	出 場 件 数	4	4	1	2		11
	搬 送 人 員	3	3		1		7
自損行為	出 場 件 数	22	16	3	1		42
	搬 送 人 員	20	12	3	1		36
急 病	出 場 件 数	1,289	925	284	226	2	2,726
	搬 送 人 員	1,190	853	271	211	2	2,527
転 院	出 場 件 数	223	208	22	3		456
	搬 送 人 員	223	205	20	3		451
そ の 他	出 場 件 数	7	9	5			21
	搬 送 人 員						
計	出 場 件 数	1,950 (1,670)	1,471 (1,222)	423 (386)	339 (258)	15 (10)	4,198 (3,546)
	搬 送 人 員	1,815 (1,578)	1,358 (1,150)	394 (358)	329 (246)	14 (9)	3,910 (3,341)
不 搬 送		140 (97)	122 (80)	30 (29)	23 (17)	5 (3)	320 (226)

()内は令和3年

3. 市町村別出場状況

市町村別出場状況



市町村別区分	富谷市	大和町	大郷町	大衡村	自動車専用道及び管外	計
出場件数	1,950	1,471	423	339	15	4,198
搬送人員	1,815	1,358	394	329	14	3,910
人口	52,399	28,179	7,728	5,650		93,956
世帯数	20,191	12,297	2,892	2,099		37,479
総人口に対する搬送割合	28.9人に1人	20.8人に1人	19.6人に1人	17.2人に1人		24人に1人
総世帯に対する出場割合	10.4世帯に1件	8.4世帯に1件	6.8世帯に1件	6.2世帯に1件		8.9世帯に1件

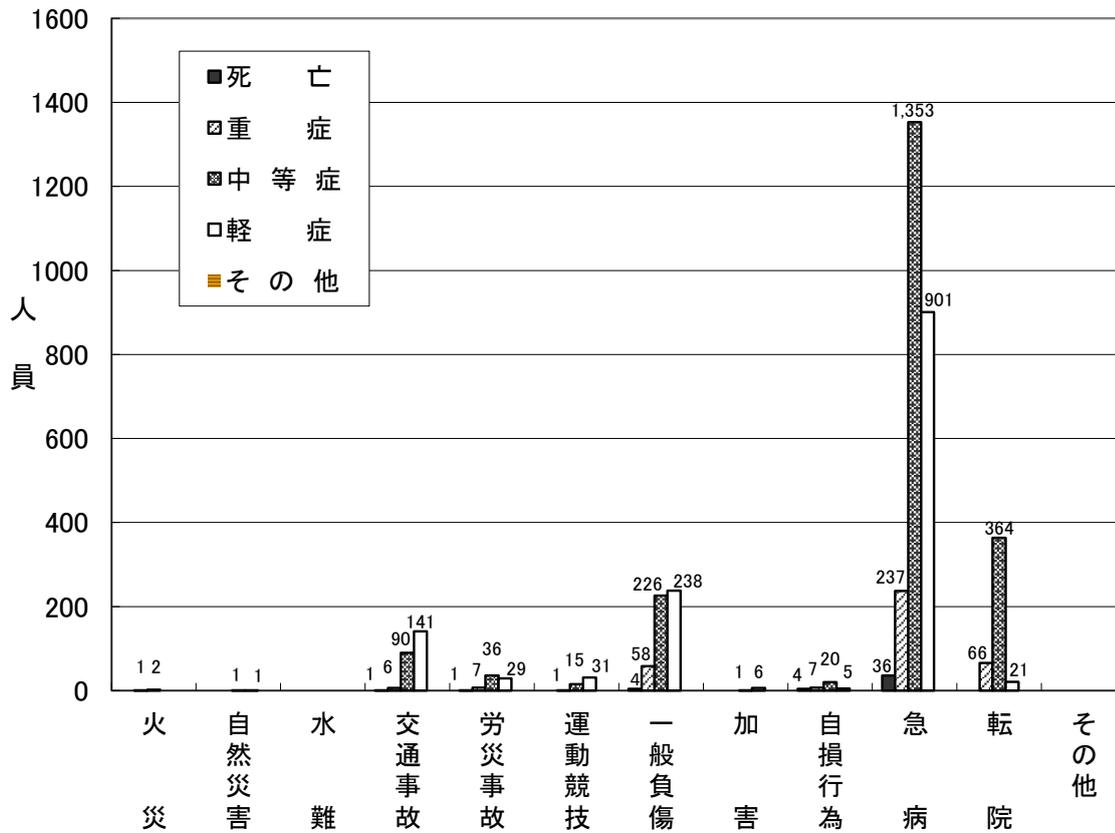
※ 人口・世帯数は令和4年12月末現在

4. 事故種別曜日別出場状況

事故種別区分	曜月別	日	月	火	水	木	金	土	計
		曜日							
火災	出場件数		4	2	3	3	1	3	16
	搬送人員			1	1		1		3
自然災害	出場件数				1	1		4	6
	搬送人員				1	1			2
水難事故	出場件数								
	搬送人員								
交通事故	出場件数	39	33	36	36	31	42	24	241
	搬送人員	40	33	39	33	30	41	22	238
労災事故	出場件数	4	14	14	19	10	7	6	74
	搬送人員	4	13	14	19	10	7	6	73
運動競技	出場件数	19	2	4		7	6	10	48
	搬送人員	18	2	4		7	6	10	47
一般負傷	出場件数	83	78	74	82	78	78	84	557
	搬送人員	78	72	71	77	72	74	82	526
加害	出場件数	1		1	2	2	3	2	11
	搬送人員			1	1	1	3	1	7
自損行為	出場件数	7	7	5	8	5	7	3	42
	搬送人員	5	6	5	8	5	5	2	36
急病	出場件数	413	402	398	365	374	369	405	2,726
	搬送人員	377	376	373	337	348	341	375	2,527
転院	出場件数	14	84	84	74	71	87	42	456
	搬送人員	14	84	83	71	70	87	42	451
その他	出場件数	4	3	2	1	5	3	3	21
	搬送人員								
計	出場件数	584 (459)	627 (555)	620 (493)	591 (517)	587 (513)	603 (522)	586 (487)	4,198 (3,546)
	搬送人員	536 (424)	586 (523)	591 (468)	548 (489)	544 (496)	565 (490)	540 (451)	3,910 (3,341)
不搬送		52 (37)	43 (34)	35 (29)	48 (31)	46 (22)	45 (33)	51 (40)	320 (226)

()内は令和3年

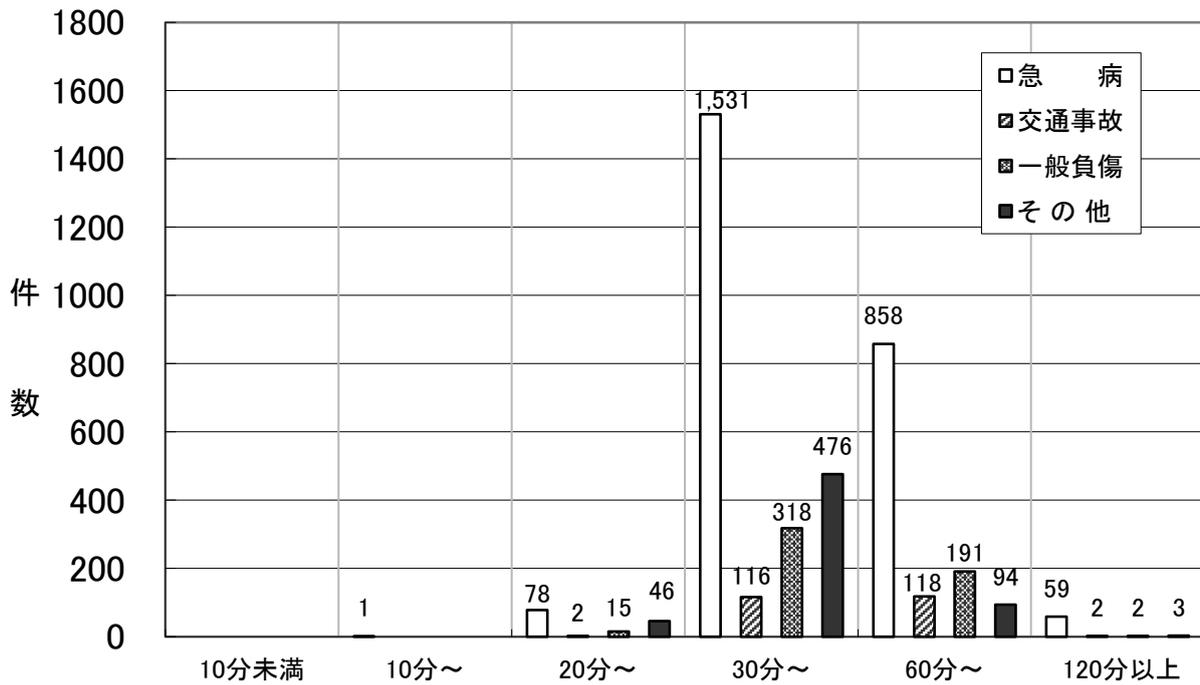
5. 事故種別傷病程度別搬送人員状況



事故種別 \ 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労災事故	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院	その他	計
死亡				1	1		4		4	36			46 (33)
重症	1			6	7	1	58		7	237	66		383 (277)
中等症	2	1		90	36	15	226	1	20	1,353	364		2,108 (1,822)
軽症		1		141	29	31	238	6	5	901	21		1,373 (1,209)
その他													
計	3	2		238 (210)	73 (71)	47 (31)	526 (472)	7 (6)	36 (18)	2,527 (2,064)	451 (469)		3,910 (3,341)

()内は令和3年

6. 事故種別収容所要時間別搬送人員状況



時間別 事故種別	入電から医療機関等に収容した時間別人員							計	収容平均 所要時間(分)
	10分未満	10分~	20分~	30分~	60分~	120分以上			
急病	0	1	78	1,531	858	59	2,527	57.6 (51.9)	
交通事故	0	0	2	116	118	2	238	61.3 (56.6)	
一般負傷	0	0	15	318	191	2	526	56.5 (50.7)	
その他	0	0	46	476	94	3	619	46.8 (42.8)	
計	0 0	1 (7)	141 (177)	2,441 (2,393)	1,261 (748)	66 (16)	3,910 (3,341)	55.9 (50.4)	

()内は令和3年

7. 管内管外別医療機関等搬送状況

区分	黒川管内	管 外				小計	計
		仙台管内	塩釜管内	大崎管内	その他の地域		
搬送件数	494 (485)	3,091 (2,585)	63 (74)	186 (155)	20 (21)	3,360 (2,835)	3,854 (3,320)
搬送人員	503 (491)	3,129 (2,595)	63 (74)	195 (160)	20 (21)	3,407 (2,850)	3,910 (3,341)

()内は令和3年

8. 救急隊員の行った応急処置の状況

事故種別 応急処置種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	計	令和3年
応急処置対象人員	2,524	237	526	619	3,906	(3,337)
止血	20	31	119	32	202	(186)
固定	15	116	62	35	228	(188)
人工呼吸	4				4	(5)
胸骨圧迫				1	1	
心肺蘇生	77	2	15	8	102	(87)
うち自動心マッサージ器	59	1	13	7	80	(64)
酸素吸入	565	16	47	143	771	(592)
気道確保	113	3	21	10	147	(129)
うち経鼻エアウェイ						
うち異物除去	1		4		5	(3)
*うちラリングル等	39	1	6	1	47	(46)
*うち気管挿管			5		5	(1)
保温・冷却	41	2	7	24	74	(67)
被覆	14	46	143	41	244	(217)
在宅療法継続	32		1	2	35	(29)
除細動	10			1	11	(10)
血糖測定	18			1	19	(18)
*心肺停止前静脈路確保	26			1	27	(18)
*心肺停止後静脈路確保	31		7	2	40	(33)
*アドレナリン投与	21		7	2	30	(19)
*ブドウ糖投与	1				1	(2)
血圧測定	2,329	229	472	599	3,629	(3,114)
心呼音聴取	1,371	128	140	246	1,885	(1,384)
血中酸素飽和度	2,462	233	511	610	3,816	(3,252)
心電図	2,181	133	296	479	3,089	(2,575)
その他	2,454	236	512	603	3,805	(3,214)
計	11,785 (9,442)	1,175 (1,040)	2,360 (2,050)	2,840 (2,607)	18,160	(15,139)

* 部分については、救急救命士が医師の指示を受けて行った救命処置 ()内は令和3年

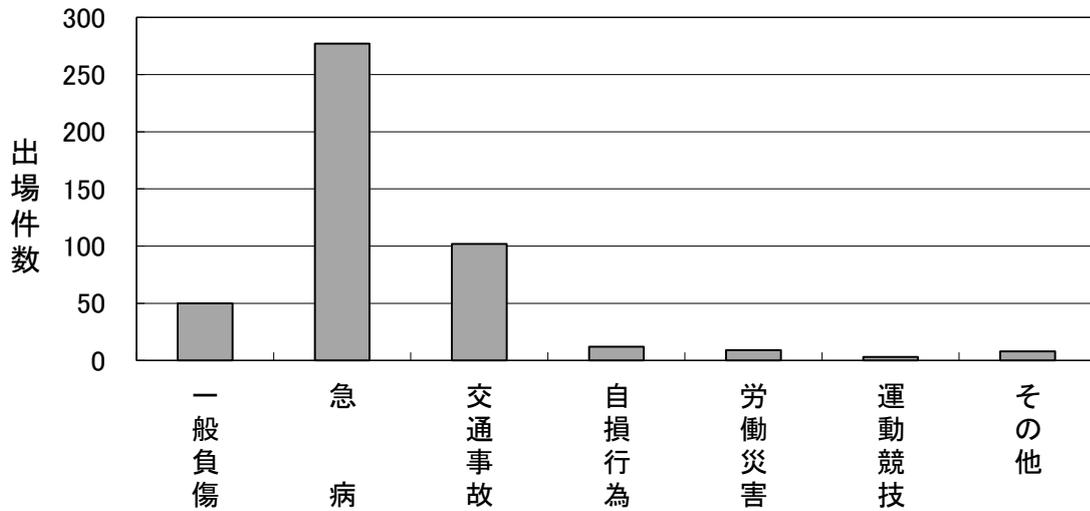
9. 年次別自動車専用道救急状況

年 別	事 故 種 別	交通事故		急 病		一般負傷		そ の 他		計	
		出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員	出 場 件 数	搬 送 人 員
昭和51年 から平成 16年まで	上り線	120	166	70	64	14	14	6	1	210	245
	下り線	244	356	58	54	8	7	6	2	316	419
17年	上り線	2	1	2	2					4	3
	下り線	5	9	1	3			2	1	8	10
18年	上り線	3	3	5	5					8	8
	下り線	5	3	1	6			2	2	8	4
19年	上り線	3	6	6	6	1	1			10	13
	下り線	2	2	2	8	1	2			5	5
20年	上り線	3	2	2	2	1	1			6	5
	下り線	3	3	3	5	1	1			6	6
21年	上り線		4	5	5	1	1	2		8	6
	下り線	4	4	1	6	1	1	1	3	6	5
22年	東北道	4	3	1	1					5	4
	北部道路	4	3	1	2					1	1
23年	東北道	10	13	7	6					17	19
	北部道路	10	13	7	6					17	19
24年	東北道	12	10	3	3			1	1	16	14
	北部道路	1	1		3					1	1
25年	東北道	6	7	6	6			2		14	13
	北部道路	1	1	8	6				2	1	1
26年	東北道	5	8	5	5			1		11	13
	北部道路	3	3	11	5				1	3	3
27年	東北道	7	6	2	1	1	1	2	1	12	9
	北部道路	2	3	1	3					3	4
28年	東北道	7	8					1		8	8
	北部道路	7	8	1	1			1	2	2	1
29年	東北道	9	9	3	3			3		15	12
	北部道路	9	9	9	3			1	4	1	16
30年	東北道	5	5	2	2			1		8	7
	北部道路	5	5	5	2				1		8
令和 元年	東北道	3	3	1	1			1		5	4
	北部道路	2	1	4	1			1	2	3	1
令和 2年	東北道	1	2	2	2			3		6	4
	北部道路	2	2	4	2				3	2	2
令和 3年	東北道	3	5	2	2					5	7
	北部道路	1	1	6	2					1	1
令和 4年	東北道	7	10	1	1	1	1	1		10	12
	北部道路	3	1	11	2	2	1	1	2	5	2
計	東北道	473	644	191	178	28	27	35	6	727	855
	北部道路	15	13	4	4	182	28	4	6	23	17

※平成22年から仙台北部道路開通により東北道上下線の区別から各自動車専用道路の出場件数、搬送人員を表示

10. PA連携出場状況

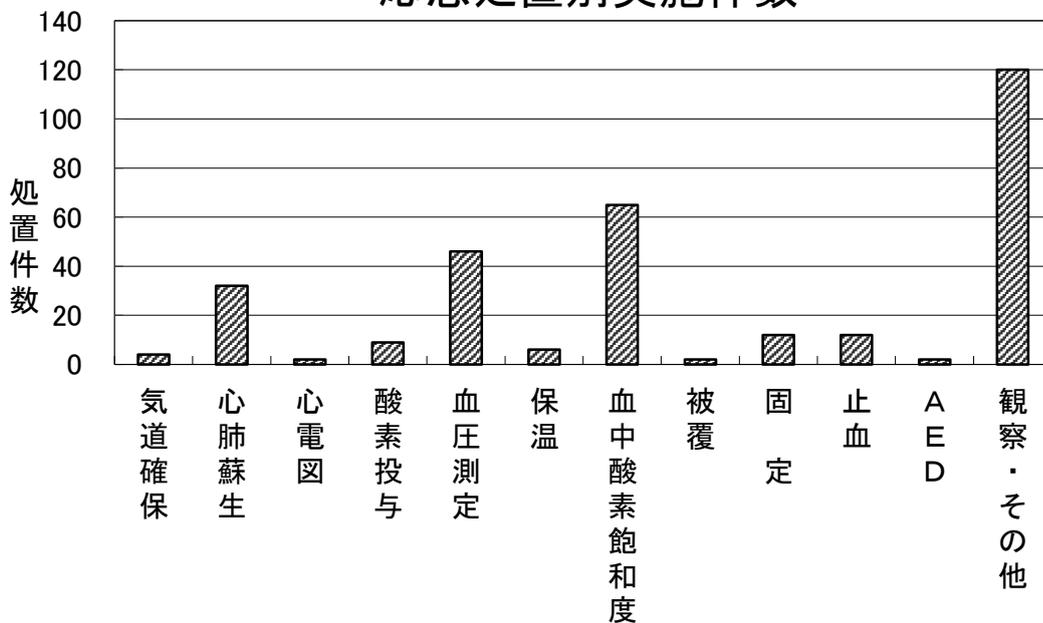
事故種別出場件数



事故種別	一般負傷	急病	交通事故	自損行為	労働災害	運動競技	その他	計
出場件数	50	277	102	12	9	3	8	461

11. PA連携活動状況

応急処置別実施件数



応急処置種別	気道確保	心肺蘇生	心電図	酸素投与	血圧測定	保温	血中酸素飽和度	被覆	固定	止血	AED	観察・その他	計
実施件数	4	32	2	9	46	6	65	2	12	12	2	120	312

12. 救命講習普及啓発活動状況

月別	区分 回数 人員	上級講習	講ジュニア	自治会	学校等	P T A	事業所	婦人防火 クラブ等	消防団	その他	講普及員	計
1	回数	1			1					1		3
	人員	5			7					6		18
2	回数				1							1
	人員				1							1
3	回数				1		2			1		4
	人員				6		19			2		27
4	回数						1			1		2
	人員						11			9		20
5	回数				1		2					3
	人員				17		13					30
6	回数				3		1			1		5
	人員				45		11			14		70
7	回数											
	人員											
8	回数				1					1		2
	人員				17					8		25
9	回数						3			1		4
	人員						35			1		36
10	回数	1					1					2
	人員	14					14					28
11	回数			1			1			1		3
	人員			20			14			2		36
12	回数			1								1
	人員			18								18
計	回数	2		2	8		11			7		30
	人員	19		38	93		117			42		309

※ 上級講習とは、8時間の救命の総合的な講習をいう。

※ ジュニア講習とは、中学生等を対象とした90～120分の短時間講習をいう。

※ 普及員講習とは、所属する事業所等で行う普通救命講習会で指導者となるための24時間講習をいう。

上記※以外は、3時間の普通救命講習をいう。

13. 年次別救命講習普及啓発活動状況

年別	区分		上級講習	ジュニア講習	自治会	学校等	PTA	事業所	ク婦人クラブ等	消防団	その他	講習普及員	計
	回数	人員											
H6~H12	回数				8	19	7	46	52	9	15		156
	人員				136	781	179	1,292	1,071	285	346		4,090
H13	回数					5		11	12	2	9		39
	人員					276		296	212	42	256		1,082
H14	回数				1	6		7	17	3	5		39
	人員				24	420		133	353	84	109		1,123
H15	回数				1	6		15	15	2	8		47
	人員				17	426		419	289	63	305		1,519
H16	回数				1	6	1	20	10	3	6		47
	人員				16	481	13	477	210	102	257		1,556
H17	回数				1	22	1	11	12	2	18		67
	人員				30	966	21	183	323	21	365		1,909
H18	回数				4	18		28	8	2	8		68
	人員				73	711		578	214	61	198		1,835
H19	回数				1	13	2	23	11	2	19		71
	人員				23	513	48	436	236	55	274		1,585
H20	回数				3	18	2	32	5	1	15		76
	人員				68	889	44	613	96	35	185		1,930
H21	回数				3	23		31	8	4	14		83
	人員				57	973		675	159	88	219		2,171
H22	回数		2	1	15	2	24	6	1	13			64
	人員		178	25	506	37	427	164	42	193			1,572
H23	回数	2	2	1	12		22	10	2	9			60
	人員	33	74	17	529		350	265	52	204			1,524
H24	回数	2		2	17		28	6	1	14			70
	人員	24		52	775		602	117	39	263			1,872
H25	回数	2		6	13		36	7		8			72
	人員	11		73	637		687	193		89			1,690
H26	回数	3	1	2	15		41	6	1	7	1		77
	人員	33	151	44	852		778	134	34	39	11		2,076
H27	回数	1	2		8	1	52	7	1	9			81
	人員	13	222		468	22	1,041	214	36	92			2,108
H28	回数		1	1	13		25	5	2	21			68
	人員		169	17	625		543	143	22	226			1,745
H29	回数	1	1	1	20		38	5	1	14			81
	人員	5	165	8	798		863	138	9	111			2,097
H30	回数	1	1		11	2	39	3		18			75
	人員	3	165		512	18	719	83		199			1,699
R元	回数	1	2	2	17		31	6		18			77
	人員	16	234	38	530		606	223		236			1,883
R2	回数	1			3		23	2		4			33
	人員	12			113		345	47		23			540
R3	回数	1					7			7	2		17
	人員	5					80			26	9		120
R4	回数	2	0	2	8	0	11	0	0	7	0		30
	人員	19	0	38	93	0	117	0	0	42	0		309
計	回数	17	12	41	288	18	601	213	39	266	3		1,498
	人員	174	1,358	756	12,874	382	12,260	4,884	1,070	4,257	20		38,035

令和4年の救助概要

令和4年中における救助活動の状況をみると、救助出場件数は84件、救助活動件数は47件、救助人員は51人となっており、前年と比較すると出場件数で12件、活動件数で10件、救助人員では12人と増加した。

1. 事故種別月別救助出場・活動状況

救助出場・活動の状況を事故種別でみると、救助出場件数で最も多かったのは交通事故の33件（39.3%）、次いでその他の事故が30件（35.7%）、建物等による事故が12件（14.3%）となっている。

また、活動件数・救助人員をみると、交通事故は活動件数が17件で21人が救助され、その他の事故が16件で同16人、建物等による事故が8件で同7人となっている。

次に救助出場件数を月別にみると、7月が11件（13.1%）と最も多く、次いで3月が10件（11.9%）、5月、8月、9月が各8件（9.5%）などとなっている。

また、活動件数・救助人員をみると、7月が活動件数7件、救助人員が8人と最も多く、次いで3月が6件で同8人、9月が6件で同6人などとなっている。

2. 市町村別救助出場・活動状況

救助出場件数を市町村別にみると、大和町が29件（34.5%）で最も多く、次いで富谷市が27件（32.1%）、大郷町が13件（15.5%）、大衡村が12件（14.3%）となっている。

また、活動件数・救助人員をみると、件数の最も多い富谷市が15件で救助人員16人、大和町が14件で同14人、大郷町が9件で同10人、大衡村が8件で同9人となっている。

3. 曜日別救助状況

救助出場件数を曜日別にみると、木曜日が18件（21.4%）で最も多く、次いで月曜日・水曜日が各13件（各15.5%）、土曜日が12件（14.3%）、火曜日が10件（11.9%）、日曜日・金曜日が各9件（各10.7%）となっている。

4. 救出所要時間別状況

活動件数のうち、救助完了した47件を時間別（覚知から救出までに要した時間）にみると、「10分～20分未満」が21件（44.7%）と最も多く、次いで「20分～30分未満」が12件（25.5%）、「30分～60分未満」が7件（14.9%）、「60分～120分未満」が4件（8.5%）、「10分未満」が3件（6.4%）となっている。

5. 傷病程度別状況

救助し救急搬送した37人の内訳を医療機関等の初診時傷病程度別にみると、軽症が13人、中等症が19人、重症が2人、死亡3人となっている。
(不搬送とした14人は含まない)

【まとめ】

令和4年中の救助出場件数は84件で、救助活動件数は47件、救助人員は51人となり、前年比で出場件数、活動件数、救助人員のいずれも増加となった。

事故種別でみると、交通事故が前年に引き続き多く発生している。交通事故による救助は管内の交通量の増加などが要因と考えられ、事故車両内への閉じ込めは二次的災害の危険度も高く、より安全で迅速な救出活動が求められる。また、建物等による事故では、建物の入り口が施錠されて安否確認が出来ないなどの事故が多く発生している。更に多種多様な機械による事故も想定され、いざ発生すれば重大事故につながる可能性が高いことから、機械の特性や構造の知識を習得し、各隊との連携を図り早急な救助方法を検討しておくなどの対応が求められる。

管内においては大規模企業、工場の進出によって、災害も複雑多様化し救出困難事案も予測されることから、常日頃より過去の事例等を教訓として、潜在的危険性などを事前に把握し、検討しておくことが求められる。また、近年の自然災害は地震をはじめ、台風による風水害はもちろん、短時間における集中豪雨が起因の土砂災害、竜巻など様々である。これら災害に対応すべく消防防災機関として、地域住民の安全・安心を守るうえで防災航空隊、ドクターヘリなど各関係機関との連携は必須である。特に大規模災害による被害に対する緊急消防援助隊としての出場も含め、速やかな連絡体制をもって、要救助者等の迅速な救出・救護を図っていくためには、職員一人ひとりが危機意識をもって消防・救助に必要な体力・技術・知識の習得に努めていくことが、非常に重要である。

1. 事故種別月別救助出場・活動状況

事故種別 月 別		火	交	水	自	事	よ	酸	破	そ	計
		災	通	難	然	機	建	ガ	裂	の	
			故	事	災	械	る	ス	事	他	
					害	に	物	事	故		
						よ	事	及	事		
						る	等	故	故		
						に	に	び			
1 月	出場件数		4				1			2	7
	活動件数		3							1	4
	救助人員		3							1	4
2 月	出場件数		2				1				3
	活動件数		1				1				2
	救助人員		1				1				2
3 月	出場件数		4				3			3	10
	活動件数		2				2			2	6
	救助人員		5				1			2	8
4 月	出場件数		2				1			3	6
	活動件数		2				1			2	5
	救助人員		2				1			2	5
5 月	出場件数		4	1						3	8
	活動件数			1						2	3
	救助人員			1						2	3
6 月	出場件数						2			3	5
	活動件数									2	2
	救助人員									2	2
7 月	出場件数		3		5	1	1			1	11
	活動件数		2		3	1	1				7
	救助人員		2		4	1	1				8
8 月	出場件数	1	3				1			3	8
	活動件数	1	2				1			1	5
	救助人員	1	3				1			1	6
9 月	出場件数		4				1			3	8
	活動件数		4				1			1	6
	救助人員		4				1			1	6
10 月	出場件数					1				4	5
	活動件数									3	3
	救助人員									3	3
11 月	出場件数		2				1			3	6
	活動件数		1				1			1	3
	救助人員		1				1			1	3
12 月	出場件数		5							2	7
	活動件数									1	1
	救助人員									1	1
計	出場件数	1	33	1	5	2	12			30	84
	活動件数	1	17	1	3	1	8			16	47
	救助人員	1	21	1	4	1	7			16	51
令和 3年	出場件数		37					2		33	72
	活動件数		19					1		17	37
	救助人員		21					1		17	39

2. 事故種別市町村別救助出場・活動状況

事故種別 市町村別		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	る 機 械 に 故 よ	よ 建 る 物 事 等 故 に	酸ガ ス 事 及 故 び	破 裂 事 故	そ の 他	計
富谷市	出場件数		7				7			13	27
	活動件数		3				6			6	15
	救助人員		5				5			6	16
大和町	出場件数	1	9	1	1	1	2			14	29
	活動件数	1	3	1			1			8	14
	救助人員	1	3	1			1			8	14
大郷町	出場件数		4		4	1	2			2	13
	活動件数		3		3	1	1			1	9
	救助人員		3		4	1	1			1	10
大衡村	出場件数		10				1			1	12
	活動件数		7							1	8
	救助人員		8							1	9
自動車 専用道 管外	出場件数		3								3
	活動件数		1								1
	救助人員		2								2
計	出場件数	1	33	1	5	2	12			30	84
	活動件数	1	17	1	3	1	8			16	47
	救助人員	1	21	1	4	1	7			16	51
令和 3年	出場件数		37					2		33	72
	活動件数		19					1		17	37
	救助人員		21					1		17	39

3. 事故種別曜日別救助出場状況

事故種別 曜日別	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	る 機 械 に 故 よ	よ 建 る 物 事 等 故 に	酸ガ ス 事 及 故 び	破 裂 事 故	そ の 他	計
日曜日		5							4	9 (8)
月曜日		5			1	2			5	13 (12)
火曜日		2	1			1			6	10 (14)
水曜日		6				2			5	13 (12)
木曜日		9				5			4	18 (14)
金曜日	1	3		1		1			3	9 (3)
土曜日		3		4	1	1			3	12 (9)
計	1	33 (37)	1	5	2	12		(2)	30 (33)	84 (72)

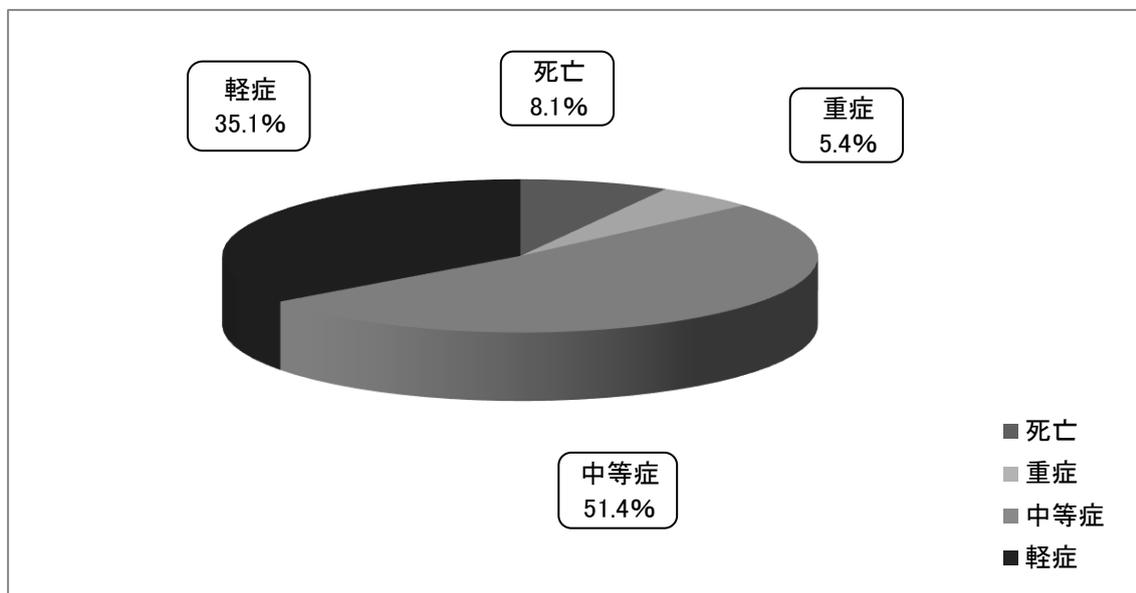
()内は令和3年

4. 救出所要時間状況

区分 事故種別	覚知から救出までに要した時間（件数）						計
	10分未満	10分～ 20分未満	20分～ 30分未満	30分～ 60分未満	60分～ 120分未満	120分以上	
火災	1						1
交通事故	1	8	7	1			17
水難事故		1					1
自然災害				2	1		3
機械による 事故			1				1
建物等による 事故		6	2				8
ガス及び酸欠 事故							
破裂事故							
その他	1	6	2	4	3		16
計	3 (1)	21 (20)	12 (13)	7 (1)	4 (2)		47 (37)

()内は令和3年

5. 傷病程度別状況



傷病程度	死亡	重症	中等症	軽症	計
人員	3	2	19	13	37

※円グラフ・表には、救急隊にて不搬送判断した症例(14名)は含まず。
14名の内訳:救急隊にて「明らかに死亡」と判断⇒5名、救助者ケガ等なし⇒9名。